

「福島復興への責任を果たすために」

～福島復興へ向けた取り組み～

2016年3月28日

東京電力株式会社
福島復興本社

福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所の事故により、今なお、発電所周辺地域の皆さま、社会の皆さまに大変なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、改めて深くお詫び申し上げます。

3月7日をもちまして、福島復興本社はJヴィレッジから富岡町にある当社施設の浜通り電力所に移転いたしました。

今回の移転の目指すところは、避難指示解除に向けた取り組みが、各地域で具体化する中、避難を継続されている方々のご帰還に先駆けて、まずは、我々東電社員がこの富岡町で元気に仕事をする姿を見ていただくことで、住民の皆さまに少しでもご安心いただければということにあります。

これにより、より一層、住民の方に寄り添って地域の復興に貢献するために、「福島復興本社」の活動を継続的に深化させて参ります。

今後、避難されている方々のご帰還等に向けて、住民の方々と直接「ふれあい、つながり」を持つ機会は、ますます増えますし、また、私たちからより積極的にそうした機会を拡大させてまいります。一日も早い福島復興を実現するために、社員一人ひとりが気持ちを込めて活動にあたって参ります。



2016年 3月

福島復興本社



- 建物名称 : 浜通り電力所
 - 所在地 : 双葉郡富岡町本町1丁目38番
 - 階数 : 地上4階
 - 竣工 : 1994年6月(築21年)
 - 移転日 : 2016年3月7日
 - 移転人員 : Jヴィレッジ内で勤務していた福島復興本社要員の約50名
- ※ 写真撮影 : 2016年1月撮影

福島復興本社の組織体制

「福島復興本社(2013年1月1日設置)」は、福島県にある全ての事業所の復興関連業務を統括し、原子力事故で被災された方への賠償、除染、復興推進などについて、迅速かつ一元的に意志決定し、福島県の皆さまのニーズにきめ細やかに対応してまいります。また、その内容については、代表定例会見等で公表してまいります。

「福島の復興」こそが、私どもの原点であり、福島県にしっかりと根を下ろして責任を全うし、引き続き損害賠償への誠実な対応はもとより、被災された皆さまの生活と福島県の復興に向けた取り組みを国や各自治体と連携して一層深化させてまいります。



福島県内の猪苗代電力所、浜通り電力所、広野火力発電所、福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所との協力体制を構築

本資料は、第四版(2015年8月発行)に記載した内容に、その後の取り組みの追加や実績の更新等を行い、改めてとりまとめました。※各取り組みの右上に「新規」「更新」の表示あり

復興推進活動

	(ページ)
1. 清掃・片付け	4
2. 荷物運搬・整理	6
3. 除草作業	7
4. 仮設住宅の除雪	9
5. 営農再開等に向けた対応	10
6. イベント対応	12
7. 一時帰宅対応	14
8. 檜葉町「避難指示解除」に向けた取り組み	15
9. 見回り活動	17
10. 介護研修会(講師派遣等)	18
11. 福島県内への派遣活動と安全教育	19

除染推進活動

1. モニタリングへの対応	20
2. 国直轄除染への対応	24
3. 市町村除染への対応	28
4. 廃棄物・リサイクル等	31
5. 技術検討・開発	32

原子力損害賠償について

1. 組織体制	36
2. 補償相談センター	36
3. 補償相談コールセンター	37
4. 補償推進ユニット	37

福島県産品購入の取り組み

1. 社内販売会	38
2. 社外販売会	38
3. ふくしま応援企業ネットワーク	39
4. ふくしま応援企業ネットワーク定時総会	39

活動実績

1. 復興・除染推進活動の実績	40
-----------------	----

清掃・片付け（住宅）

更新

■実施日：

○広野町：2012年3月～ ○南相馬市：2012年4月～ ○檜葉町：2012年8月～
○富岡町：2013年5月～ ○浪江町：2013年7月～ ○川内村：2013年7月～
○川俣町：2014年2月～ ○大熊町：2014年5月～ ○田村市：2014年5月～
○双葉町：2014年8月～ ○葛尾村：2014年10月～

■実施場所：福島県 川内村、富岡町、浪江町、檜葉町、広野町、南相馬市、川俣町、大熊町、田村市、双葉町、葛尾村

■実施内容：家屋内の片付け、清掃、屋外搬出を実施。

■実績：福島復興本社設立以降、11市町村合計で約3,000軒、延べ約45,300人が実施（2016年2月末）。



片付けの様子【2015年7月5日】



片付け前の様子【2015年7月5日】

片付け後の様子【2015年7月5日】

清掃・片付け（海水浴場）

- 実施日：2015年7月8日、9日、2014年7月19日
- 実施場所：福島県 いわき市 勿来海岸
- 実施内容：勿来海岸の海水浴場の海開きに向け、砂浜（約400m）や周辺施設のごみ拾い等の清掃活動を実施。
- 実績：65人が実施（2015年度45人，2014年度20人）。



勿来海岸の清掃の様子【2015年7月8日】



勿来海岸の清掃の様子【2014年7月19日】

清掃・片付け（神社）

- 実施日：2015年12月1日～12月25日（うち14日間）
- 実施場所：福島県 双葉町、楡葉町、広野町、南相馬市、相馬市
- 実施内容：初詣に向けた神社境内や鳥居・参道周辺などの清掃・除草を実施。
- 実績：社員 延べ393人が実施。

新規



落ち葉清掃の様子(相馬妙見中村神社)【2015年12月】



除草の様子(相馬妙見中村神社)【2015年12月】

荷物運搬・整理（図書館）

- 実施日：2015年3月4日
- 実施場所：福島県 双葉町 双葉町図書館
- 実施内容：震災により散乱した書籍類の整理および館内の清掃を実施（1階図書館、2階職員室）
- 実績：35人が実施。



書類整理前の様子【2015年3月】



書類整理後の様子【2015年3月】

荷物運搬・整理（公民館）

- 実施日：2015年3月25日～3月27日
- 実施場所：福島県 檜葉町公民館、檜葉町コミュニティセンター
- 実施内容：震災後、檜葉町コミュニティセンターに仮置きしていた備品を、災害復旧工事が完了した公民館へ運搬し、格納（震災前の保管状態に復元）。
- 実績：延べ60人が実施。



公民館の作業前の様子【2015年3月】



公民館の作業後の様子【2015年3月】

除草作業（小学校）

- 実施日：2015年5月19日～5月21日
- 実施場所：福島県 檜葉町 檜葉南小学校
- 実施内容：檜葉町教育総務課さまよりご要請をいただき、檜葉南小学校の再開準備に向けて校庭の除草を手摘みで実施。
- 実績：延べ178人が実施。



除草前の様子【2015年5月】



除草後の様子【2015年5月】

除草作業（住宅等への進入路）

更新

- 実施日：2013年9月24日～実施中
- 実施場所：福島県 双葉町：延べ約650箇所・約10人／日、大熊町：延べ約1,800箇所・約20人／日
檜葉町：延べ約100箇所・約5人／日
- 実施内容：公道から住宅への進入路および駐車スペースで支障になっている箇所の除草を実施。
- 実績：約1,540日間延べ約19,000人が実施（2016年2月末）。



除草前の様子（双葉町）



除草後の様子（双葉町）

除草作業（墓地）

更新

- 実施日：2013年3月2日～実施中
- 実施場所：福島県 大熊町、葛尾村、川俣町、富岡町、浪江町、楡葉町、双葉町
※大熊町、葛尾村、川俣町、富岡町、楡葉町は2013年7月から活動実施。
- 実施内容：墓地の除草および清掃を実施。
- 実績：約660日間延べ約11,000人が実施。



除草中の様子【2014年7月25日】



除草後の様子【2014年7月25日】

除草作業（遊歩道）

新規

- 実施日：2014年9月1日～9月29日（うち11日間）
- 実施場所：福島県 広野町（五社山遊歩道）
- 実施内容：広野町よりご要請いただき、五社山遊歩道（ハイキングコース）の再開に向けた除草ならびに堆積土砂の除去を実施。
- 実績：延べ139人が実施。



除草前の様子【2015年9月1日】



除草後の様子【2015年9月29日】

仮設住宅の除雪

更新

- 実施日: 2014年12月15日～2016年1月27日
- 実施場所: 福島県 会津若松市、会津美里町内の大熊町・楡葉町仮設住宅の13箇所
- 実施内容: 仮設住宅の屋根の雪下ろしや、生活通路確保のための敷地内除雪等を実施。
- 実績: 60日間、延べ約1,300人が実施。



仮設住宅の除雪の様子【2015年2月】



除雪前の様子【2015年1月】



除雪後の様子【2015年1月】

営農再開等に向けた対応（除草・泥上げ）

- 実施日：2015年3月6日～4月9日（うち8日間）
- 実施場所：福島県 いわき市久之浜町金ヶ沢地区
- 実施内容：稲作再開のため、今春の作付けに間に合うよう農業用水路の機能を回復（泥あげ）。
周辺の除草を実施。
- 実績：延べ36人が実施。



除草・泥上げ前の様子【2015年3月】



除草泥上げ後の様子【2015年3月】

営農再開等に向けた対応（大規模侵入防止柵の設置）

- 実施日：2015年3月23日～5月16日
- 実施場所：福島県 南相馬市
- 実施内容：野生動物（イノシシや猿など）の田畑への侵入による被害を防止するため、田畑周囲に大規模侵入防止柵およびを設置。
- 実績：18日間延べ約138人が実施。



電気柵設置の様子【2015年4月】

営農再開等に向けた対応（畑の復旧）

- 実施日：2014年10月1日～10月31日、2015年6月2日～6月10日
- 実施場所：福島県 川俣町山木屋地区4地点（2014年10月）2地点（2015年6月）
- 実施内容：川俣町原子力災害対策課からご要請をいただき、ユキヤナギ畑の復旧に向けユキヤナギ畑内の除草を実施（ユキヤナギ株周辺は手摘みによる除草）
- 実績：延べ約180人が実施（2014年10月 100人 2015年6月 80人）。



除草中の様子【2015年6月】



除草後の様子【2015年6月】

営農再開等に向けた対応（電気柵の点検）

更新

- 実施日：2013年9月4日～10月25日、2014年5月12日～10月8日、2015年8月10日～10月15日
- 実施場所：福島県 田村市 都路町
- 実施内容：イノシシなどの野生動物侵入による被害の防止のために、田畑に設置した電気柵の状況確認や電圧測定を実施。
- 実績：約200箇所 90日間延べ約320人が実施。



電気柵の電圧測定の様子【2013年9月17日】

イベント対応（なみえ復興祭 2015春）

- 実施日：2015年4月10日～12日
- 実施場所：福島県 相馬市 大野台第八応急仮設住宅
- 実施内容：「なみえ復興祭2015春」の開催前日の会場設営、復興祭当日の受付および駐車場の交通誘導、開催後の後片付けを実施。
- 実績：延べ24人が実施。



復興祭の様子【2015年4月】



受付の様子【2015年4月】

イベント対応（川俣シャモ祭りin四季の里）

- 実施日：2015年4月24日～26日（2014、2013年も実施）
- 実施場所：福島県 福島市 四季の里
- 実施内容：会場の設営や撤収、シャモ焼き、ゴミ拾い等を実施。
- 実績：3日間延べ36人が実施。



会場の様子(シャモ焼き)【2014年8月】



後片付けの様子【2015年4月】

イベント対応（都路灯まつり）

新規

- 実施日：2015年7月16日～8月2日（うち12日間）
- 実施場所：福島県 田村市（グリーンパーク都路）
- 実施内容：田村市都路行政局さまよりご要請いただき、「都路灯まつり」の開催に向けた会場設営を実施（2015年8月1日に開催）。
- 実績：延べ213人が実施。



会場設営（「竹灯」打ち込み）の様子【2015年7月】



開催当日の様子【2015年8月】

イベント対応（「あかりのファンタジーイルミネーション」の装飾）

新規

- 実施日：2015年11月22日
- 実施場所：福島県 南相馬市（小高浮舟ふれあい広場）
- 実施内容：南相馬市小高観光協会様よりご要請いただき、小高浮舟ふれあい広場内へクリスマスイルミネーションの装飾を実施。
- 実績：16人が実施。



イルミネーション装飾の様子【2015年11月】



イルミネーション点灯の様子【2015年11月】

一時帰宅対応

更新

■実施日：2011年5月23日～

■実施場所：福島県 富岡町(毛萱・波倉)・浪江町(高瀬、津島)

■実施内容：帰還困難区域の市町村住民の方々がマイカーまたは、マイクロバスで一時帰宅される際、中継基地における住民の受付時(防護服・線量計配布)、帰着時(線量測定)の対応を実施。

■実績：10～60人程度／日・箇所

福島復興本社設立以降、延べ約60,200人が実施(2016年2月末)。



車両の誘導の様子【2012年2月15日】



車両の誘導の様子【2012年12月3日】



車両の線量測定の様子【2013年10月22日】



車両の誘導の様子【2013年10月22日】

檜葉町「避難指示解除」に向けた取り組み（イベント対応）

新規

- 実施日：2015年8月～10月
- 実施場所：福島県 檜葉町
- 実施内容：避難指示解除前後に檜葉町で開催された各イベントの対応（会場設営・運営補助等）。
- 実績：延べ618人が実施



クリーンアップ作戦の様子【2015年8月9日】



キャンドルナイトの様子【2015年9月4日】



復興祈念式典「記念植樹」の様子【2015年9月5日】



リニューアルフェスタの様子【2015年9月19日】



ふたばワールド2015inならはの様子【2015年10月10日】

檜葉町「避難指示解除」に向けた取り組み（天神岬公園内あやめ池の泥除去）

- 実施日：2015年2月12日～3月19日（12日間）
- 実施場所：福島県 檜葉町 天神岬公園内あやめ池
- 実施内容：檜葉町よりご要請をいただき、あやめ池の改修工事前の泥あげ（土嚢袋へ格納／3,000袋超）および運搬を実施。
- 実績：延べ204人が実施



作業の様子【2015年2月】



泥上げ前の様子【2014年2月】

泥上げ後の様子【2014年2月】

見回り活動

新規

■実施日：

- 檜葉町：2015年6月1日～ ○川俣町：2015年8月31日
○葛尾村：2015年8月31日～ ○南相馬市：2015年10月21日～

■実施場所：福島県 檜葉町、川俣町(山木屋地区)、葛尾村、南相馬市(小高区と原町区の一部)

■実施内容：車で巡回しながらお声かけさせていただき、「重量物の移動」や「屋内のお片付け」など、ご要望を承り、帰還に向けたお手伝いを実施。

■実績：	檜葉町	面会軒数 886軒	支援活動 136件
	川俣町	面会軒数 240軒	支援活動 36件
	葛尾村	面会軒数 298軒	支援活動 28件
	南相馬市	面会軒数 328軒	

※南相馬市においては、「青パト」として活動を行っているため支援実績なし。
(支援活動については、ボランティアセンターにて受付・実施)。



【檜葉町】見回り車両【2015年6月】



【川俣町】面会の様子【2015年9月】



出発前の様子【2015年12月】



巡回中の様子【2015年11月】

介護研修会（講師派遣等）

更新

■実施日：2013年5月20日～

■実施場所：福島県内で避難されている方々がお住いの市町村（いわき市、郡山市、南相馬市等）

■実施内容：

- 福島県をはじめ、13市町村※1を対象に、ご説明・ご提案や研修会活動を実施。
 - 避難生活を余儀なくされている高齢者の方およびその介護に携わることご家族を対象として、健康の維持や介護状態の悪化防止に関するサロンイベントや勉強会を実施。また、介護職員の方々を対象とした介護技術研修会も実施。
- 各講師はグループ会社※2の介護福祉士等

■実績：

- サロン企画・運営42回 [参加者：544人]
 - 住居向け勉強会85回 [参加者：1,597人]
 - 介護技術研修会77回 [参加者：1,395人]
- ※1回あたりの参加者数：10～30人程度

〔合計 204回 [参加者：約3,536人]
(2016年2月末現在)〕

※1 13市町村とは、飯舘村、いわき市、大熊町、葛尾村、川内村、川俣町、田村市、富岡町、浪江町、楢葉町、広野町、双葉町、南相馬市

※2 グループ会社とは、東電パートナーズ(株)
事業内容は介護保険事業およびこれに関する研修事業・訪問介護・デイサービス・福祉用具のレンタル等



【サロン企画・運営(すき焼きじゃんけん)】



【介護勉強会(ベッドからの起き上がり介助)】



【介護技術研修会(接客マナー)】



【介護技術研修会(介助実習)】

福島県内への派遣活動

更新

- 実施日: 2011年5月～
 - 実施内容: 復興推進活動のため、本社や各事業所・発電所等から、バスで福島県内へ社員を派遣。
活動拠点としているJヴィレッジでは、活動に必要な情報共有のためガイダンスや研修を実施。
 - 実績: ほぼ毎日、片道数時間かけて1台のバスに約35名の社員が乗車
(最大1日3台運行実績有り)
- 【参考】乗車時間: 東京→Jヴィレッジ 約3時間半 / 柏崎刈羽原子力発電所→Jヴィレッジ 約5時間、1日平均200人以上の社員が、福島県内各地で復興推進活動に取り組んでいる。



バスへ乗り込む社員達(東京: 鍛冶橋)【2013年11月29日】



ガイダンスの様子(Jヴィレッジ)【2015年11月18日】

刈払機の安全教育

更新

- 実施日: 2013年4月～
- 実施内容: 除草作業に使用する刈払機の使用にあたっては、事前に安全教育(座学・実技)を実施し、福島県内の各地へ社員を派遣している。
- 実績: 修了証発行者数は延べ約17,500人(2015年2月)。



刈払機の安全教育(座学: 本店)【2014年7月31日】



刈払機の安全教育(実技: Jヴィレッジ)【2016年2月16日】

モニタリングへの対応（県道49号等）

新規

- 実施日：2015年11月25日、12月7日
- 実施場所：県道49号・50号及び国道114号の一部(帰還困難区域37.8km)
- 実施内容：内閣府原子力災害対策本部からの要請により、帰還困難区域内の県道49号・50号及び国道114号について、自動車等で通行した際の放射性物質の影響を確認するため、当該道路の空間線量率の測定等を実施。
- 実績：2日間 延べ9人が実施



【空間線量率測定区間※】

【各経路の空間線量率分布の測定結果※】

※「県道49号、県道50号及び国道114号(帰還困難区域)の線量調査結果について」(内閣府原子力被災者生活支援チーム 2016年1月27日公表)を基に作成

モニタリングへの対応（学校）

新規

- 実施日：2015年7月29日～9月30日
- 実施場所：福島県 白河市 市立白河第一小学校 他5校
- 実施内容：白河市からの要請により、小中学校の定期モニタリングに協力。指向性モニタリングにより、空間線量率に影響を与えている箇所についても評価。
- 実績：延べ75人が実施。



【モニタリング状況】

モニタリングへの対応（常磐自動車道）

- 実施日：2014年10月21日～2015年1月27日
- 実施場所：常磐自動車道 広野IC～南相馬IC間(49.1km)及びならばPA
国道288号及び県道35号の一部(15.1km(帰還困難区域:6.5km))
- 実施内容：内閣府原子力災害対策本部からの要請を受け、常磐自動車道 常磐富岡IC～浪江IC間の開通に向けて、自動車等で通行した際の放射性物質の影響を確認するため、当該高速道路等の空間線量率の測定を実施。
- 実績：17日間延べ26人が実施。



(写真は別の走行モニタリング)

【ならばPA歩行モニタリングの様子】

【走行モニタリングの様子】

■新たに開通・通行可能となった区間の空間線量率マップ■

- 測定値 < 1.0
 - 1.0 ≤ 測定値 < 1.9
 - 1.9 ≤ 測定値 < 3.8
 - 3.8 ≤ 測定値 < 9.5
 - 9.5 ≤ 測定値 < 19.0
 - 19.0 ≤ 測定値
- ※単位は全てμSv/h



国道288号及び県道35号 (②,③)

当該区間を時速40kmで自動車
が1回通行する際に運転手等
が受ける被ばく線量は0.28μSv

常磐自動車道(①) (常磐富岡IC～浪江IC間)

当該区間を時速70kmで1
回通行する際に運転手等
が受ける被ばく線量
自動車:0.17μSv
自動二輪車:0.21μSv

ならばPA

空間線量率
上り線側:0.08～0.15μSv/h
下り線側:0.08～0.41μSv/h

当該PAを利用する運転手
等が車外に20分間滞在で
受ける被ばく線量
上り線側:0.05μSv
下り線側:0.14μSv

モニタリングへの対応（除染工事車両）

- 実施日：2012年2月29日～2015年3月31日
- 実施場所：福島県 川内村、浪江町、田村市、大熊町
- 実施内容：環境省からの要請を受け、除染特別地域における作業エリア内から除染工事車両が退出する際のスクリーニングに対応。
- 実績：延べ12,722人が実施(2013年1月の除染推進室設置以降では延べ7,092人)



【除染工事車のスクリーニングの様子】

モニタリングへの対応（JR常磐線）

- 実施日：2014年12月3日～12月19日
- 実施場所：JR常磐線 富岡駅～浪江駅間
- 実施内容：内閣府原子力災害対策本部からの要請により、JR常磐線の早期復旧に向けた検討のため、富岡駅から浪江駅間における、空間線量率分布の調査を実施。
帰還困難区域を中心とする約20kmの区間において、線路上での歩行モニタリングや指定された地点での線路横断方向の定点測定を実施。
- 実績：5日間 延べ23人が実施



【電離式サーベイメータを用いた測定】

モニタリングマップ
歩行モニタリング結果
地上1m：2014.12.3～12.5

モニタリングへの対応（避難指示区域の主要道路）

更新

- 実施日：2013年1月9日～継続中（2016年3月末時点、第24巡目まで終了）。
- 実施内容：内閣府・原子力規制委員会からの要請により、福島県内の避難指示区域の主要道路（約1,600km）を走行サーベイ実施。1巡あたり5週間程度、計測走行。計測データを提出後、国から公表。
2011年8月に実施した第1巡目より継続的に対応。
- 実績：2013年1月以降、延べ約1,140名が実施。



【走行サーベイの様子】



【走行サーベイの様子】

モニタリングへの対応（国道6号）

- 実施日：2014年4月4日～4月25日、6月13日～8月15日
- 実施場所：国道6号 広野～南相馬間（片道約42.5km）
県道36号 常磐富岡IC～国道6号線（片道4.7km）
- 実施内容：2014年4月に環境省からの要請を受け、国道6号の帰還困難区域における除染工事着手に向け、道路の状況確認、線量測定や道路除染方法の検討を実施。2014年6月に内閣府原子力災害現地対策本部からの要請を受け、2014年8月に国道6号及び県道36号において、同区間を車両で通行する方の被ばく線量等を確認するため、モニタリングカーによる空間線量率の測定を実施。（9月12日原子力災害対策本部HPでも公表）
- 実績：22日間延べ74人が実施。

国道6号[上り：南相馬→広野]
空間線量率測定結果（2014. 8. 12）



モニタリングマップ



【現場調査の様子】

凡例

- ◆ 測定値 < 1.0 μ Sv/h
- ◆ 1.0 ≤ 測定値 < 1.9 μ Sv/h
- ◆ 1.9 ≤ 測定値 < 3.8 μ Sv/h
- ◆ 3.8 ≤ 測定値 < 9.5 μ Sv/h
- ◆ 9.5 ≤ 測定値 < 19.0 μ Sv/h

＜仮置場周辺のモニタリング等への対応＞

- 実施日：2015年11月11日～2016年1月22日
- 実施場所：福島県 楡葉町
- 実施内容：楡葉町において、環境省からの要請により、仮置場フェンス周辺のモニタリングや土壌等の除去を実施。
- 実績：延べ20人が実施。



【モニタリング状況】

＜秋空散策あるこう会への対応＞

- 実施日：2015年10月9日～30日（開催日 10月31日）
- 実施場所：福島県 楡葉町
- 実施内容：楡葉町において、環境省からの要請により、5年ぶりとなる「秋空散策あるこう会」の町内開催に向け、町から指定された一部コース沿道のモニタリングや堆積物・土壌等の除去を実施。
- 実績：延べ55人が実施。



【堆積物・土壌等の除去作業状況】

＜帰還後の安心に向けた施策への対応＞

- 実施日：2015年5月～継続中
- 実施場所：福島県 楡葉町
- 実施内容：9月5日に避難指示が解除された楡葉町において、環境省からの要請により、住民の方々がご不安思われている箇所の現地調査や土壌除去を実施中。
- 実績：延べ約761人が実施。（2016年2月末時点）



【堆積物・土壌等の除去作業状況】

＜帰還に向けた施策への対応＞

- 実施日：2014年7月～2015年9月（避難指示解除月）
- 実施場所：福島県 楡葉町
- 実施内容：9月5日に避難指示が解除される楡葉町において、環境省からの要請により、除染後のモニタリングを行うとともに、現地調査結果に基づくフォローアップ除染手法のご提案を実施。
- 実績：延べ約2,234人が実施。



【現地調査状況】

国直轄除染への対応（農地）

新規

- 実施日：2015年6月8日～8月19日
- 実施場所：福島県 浪江町、川俣町
- 実施内容：除染特別地域内における一部農地においては、柳等の草木が繁茂しており、農地の復旧に向けた除染実施のため、これらの除去が必要となっている。そのため環境省からの要請により、効率的な除去方法の評価のための現地対応等を実施。
- 実績：延べ42人が実施。



【柳等の除去作業】



【現場対応状況】

国直轄除染への対応（帰還に向けた施策）

- 実施日：2014年5月12日～2015年4月28日
- 実施場所：福島県 川内村（下川内）
- 実施内容：環境省からの要請により、川内村の旧居住制限区域及び旧避難指示解除準備区域に住民の方々の帰還や安心のために国が実施するフォローアップ除染に向け、現地調査等を実施。
- 実績：延べ約798名が実施。



【現地調査状況（家屋付近）】



【現地調査状況（庭木付近）】

国直轄除染への対応（拠点除染）

- 実施日：2014年9月4日～12月1日
- 実施場所：福島県 双葉町
- 実施内容：環境省からの要請により、双葉町の帰還困難区域において、コミュニティセンターや電話基地局等の復興拠点の除染工事実施に向け、当該施設の現地調査を実施。
- 実績：39日間延べ130人が実施。



【現場調査状況（地表面の汚染密度の測定）】



【現場調査状況（除染範囲把握のための測定）】

国直轄除染への対応（宅地）

- 実施日：2014年5月8日～10月31日
- 実施場所：福島県 川俣町 山木屋地区
- 実施内容：環境省からの要請により、川俣町山木屋地区の除染作業が終了した宅地※¹において、局所的に線量の高い箇所の有無を確認するためのモニタリングを実施。
※¹ 宅地及びその近隣の有無を確認するためのモニタリングを実施。
- 実績：117日間延べ552人が実施。



【モニタリングの様子】

川俣町山木屋地区
本格除染の進捗（2014年10月末時点）
出典：環境省 除染情報サイトより

国直轄除染への対応（墓地）

- 実施日：2014年7月4日～7月26日
- 実施場所：福島県 飯舘村 長泥地区
- 実施内容：環境省からの要請により、墓地3箇所（計約8,000㎡）の除染工事において、現場の工事監督業務を実施。
- 実績：17日間延べ52人が実施。



【砂利の剥ぎ取り前立ち会いの様子】



【除染作業（表土剥ぎ）の様子】

国直轄除染への対応（仮置場の管理状況確認）

- 実施日：2014年1月～6月
- 実施内容：環境省からの要請により、除染特別地域内に設置された国が管理する仮置場について、目視による外観確認や線量測定等の現地確認を実施。
- 実績：54日間延べ302人が実施。



【仮置場調査の様子】



【遮蔽土のう状態調査の様子】

市町村除染への対応（工場）

新規

- 実施日：2014年10月29日～2015年3月9日
- 実施場所：福島県 田村市 中央化学株式会社 東北工場（2015年10月27日竣工）
- 実施内容：田村市より、中央化学株式会社 東北工場の早期再開に向けた取り組みへの協力要請があり、モニタリングや除染作業を実施。
- 実績：延べ100名が実施。



【屋内のモニタリング状況】



【屋外の側溝部 除染作業状況】

市町村除染への対応（除染関連研修等）

新規

- 実施日：2014年10月～継続中
- 実施場所：福島県内の市町村
- 実施内容：福島県内において、国・市町村からのご要請により、除染に関わる機器の取扱い方法や現地調査方法等について、研修等へのご協力を実施。
（受講人数：延べ約900人）
- 実績：延べ209人が実施。（2016年2月末時点）



【講義による研修】



【現場での実技研修】

市町村除染への対応（宅地）

- 実施日：除染作業中：2013年11月18日～2015年3月13日（内140日間）
除染終了後：2014年11月17日～2015年6月11日（内64日間）
- 実施場所：福島県 桑折町
- 実施内容：桑折町さまからのご要請により、同町の管理基準に基づく住宅の除染作業を2015年3月までに終了するため、同町の管理業務補助として延べ800軒弱の除染作業中および終了後の線量等の状態確認に対応。
- 実績：延べ420人が実施（除染作業中では延べ303人、除染終了後は延べ117人）



【現場調査状況（地表面の汚染密度の測定）】



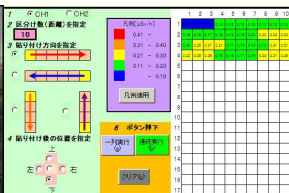
【現場調査状況（除染範囲把握のための測定）】

市町村除染への対応（新技術の提案）

- 実施時期：2014年5月29日～5月30日
- 実施場所：福島県 福島市
- 実施内容：
 - 住宅敷地内の汚染状況を短時間で正確に把握し、住民に分かりやすく示すことの出来る新技術の適用に関する福島市の検討に対し、当社からモニタリング手法を提案。
 - 地表部分を確認するための歩行モニタリング装置、屋根・雨樋などの高所を確認するための高所点検カメラ・高所測定機器を提案し、実機を用いた現地試験の結果、新手法として採用頂くことが決定。
- 実績：2日間延べ10人が実施。



【歩行モニタリング】



【測定結果表示画面】



【高所点検カメラ※】



【高所確認状況※】



【高所測定機器※】

※出典：2014年6月15日「除染に関する有識者との意見交換会」福島市発表資料

市町村除染への対応（公共施設）

- 実施日：2014年8月29日～9月12日
- 実施場所：福島県 西郷村（学校施設4箇所）
- 実施内容：西郷村からのご要請により、村内学校施設4校における植栽・側溝等の除染作業を実施。
※作業実施箇所の空間線量低減率（地上50cm）：50.2%～15.0%の低減
- 実績：12日間延べ172名が実施。



【除染作業の様子】

- 実施日：2014年10月27日～11月5日
- 実施場所：福島県 古殿町 三株高原広場
- 実施内容：古殿町からのご要請により、震災以降初となる来年の山開きに向け、三株山を訪れた方が広場でのキャンプ・催し物等を安心して楽しんで頂けるよう、除染作業を実施。
※作業実施箇所の空間線量低減率（平均値）：14.0%
- 実績：7日間延べ82人が実施。



【除染作業の様子】

- 実施日：2014年8月20日～9月5日
- 実施場所：福島県 古殿町 芝山自然公園
- 実施内容：古殿町からのご要請により、地元の人々にも大切にされ「福島緑の百景」にも選ばれている芝山自然公園について除染作業を実施。
作業前後の空間線量率（平均値）：
0.86 μ Sv/h→0.50 μ Sv/h（低減率：42%）
- 実績：10日間延べ129人が実施。



【除染作業の様子】

- 実施日：2014年6月5日～7月1日
- 実施場所：福島県 大玉村 北部ふれあいセンター
- 実施内容：大玉村役場からのご要請により、地域住民の方々が利用される公共施設の除染作業を実施。
- 実績：14日間延べ94人が実施。



【除染作業の様子】

廃棄物・リサイクル等（避難指示区域内残置自動車）

新規

- 実施日：2013年9月～継続中
- 実施場所：福島県 富岡町、楡葉町、浪江町、大熊町
- 実施内容：環境省からの要請により、公道および公共施設に残された自動車の実態調査を、富岡町、楡葉町、浪江町、大熊町で順次実施。
また、当社に賠償請求中および賠償済みの残置自動車※について、撤去・処分に関するご意向確認の案内文書を所有者さまに発送。（最近では、2015年12月に浪江町分を発送。）

※公道・公共施設・ご自宅等にやむを得ず残された自動車が対象

- 実績：延べ280名が実施。（2016年2月末時点）



【現地調査状況】

廃棄物・リサイクル等（滞留牛ふん堆肥の流通回復）

更新

- 実施日：2013年5月23日（初回運搬）～継続中
- 実施内容：暫定許容値（400Bq/kg）以下の滞留堆肥の流通を促進させるため、県及び地元自治体等が、各地域の滞留堆肥供給者と受け入れ先とのマッチングの調整を行い、当社が堆肥の運搬・散布作業の手配とその委託費用のお支払いを実施。
- 取組実績：県内17の地域協議会等と実施協定を締結し、一昨昨年春より各地域で実施し、滞留解消目標量9万7千トンの内、累計約9万3千トンの滞留堆肥を解消（2016年2月末）



【堆肥散布の様子】

技術検討・開発（セシウムのキノコへの移行試験）

新規

■実施日：2014年9月～2015年12月

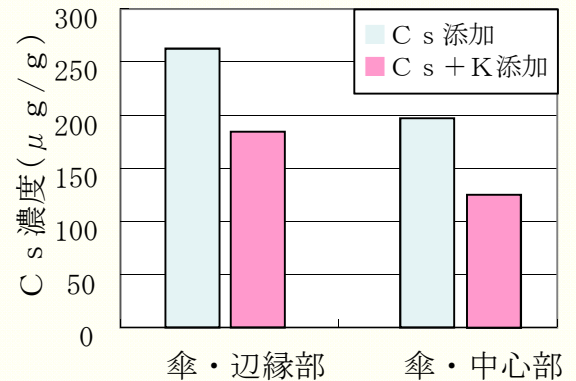
■実施場所：除染推進室 実験室（技術開発センター）

■実施内容：福島県内で生産量が多いシイタケ・ナメコを、外部環境の影響を受けない実験室内で栽培し、カリウムによるセシウム移行抑制効果についての基礎データを収集。セシウム(Cs)とカリウム(K)の吸収選択性と、Cs局在性について特徴があることを確認し、学会等で報告。

■実績：延べ42名が実施。

	Cs・K 吸収選択性	Cs局在性
シイタケ(菌床栽培)	有	傘・辺縁部>傘・中心部 傘>茎
ナメコ(原木栽培)	有	傘>茎

【実験結果】



【K添加によるCs-133吸収抑制効果】
(シイタケ菌床栽培)

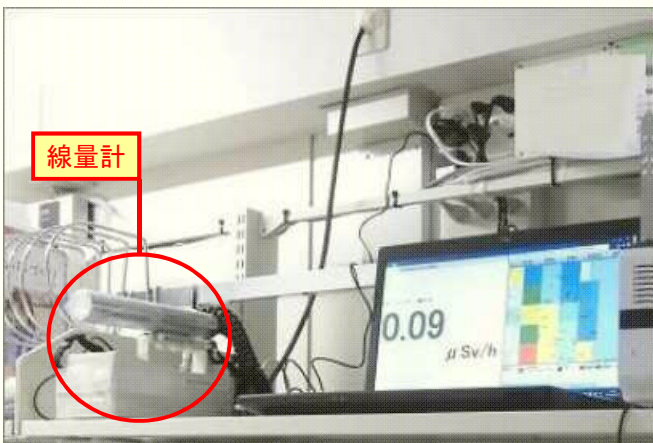
技術検討・開発（放射線の不安低減対策）

■実施時期：2014年9月4日、9月12日

■実施場所：福島県 浪江町

■実施内容：

- 環境省より、営業が再開されるコンビニエンスストアにおいて、お客さまに店内の空間線量率をリアルタイムでご確認頂く方法について相談を受け、当社が開発した空間線量率を連続計測するためのソフトをご提供。
- 当該ソフトを用いることにより、一般的な線量計の計測値を店内の大型モニターにリアルタイムで表示することが可能となり、同店を訪れるお客さまの安心に繋げることができた。



【測定器設置状況】



【店内線量表示状況】

技術検討・開発（放射線と光の類似性を活用した放射線の理解支援ツール）

■ 開発期間：2011年12月～2012年10月

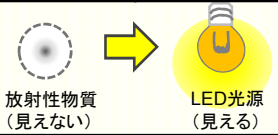
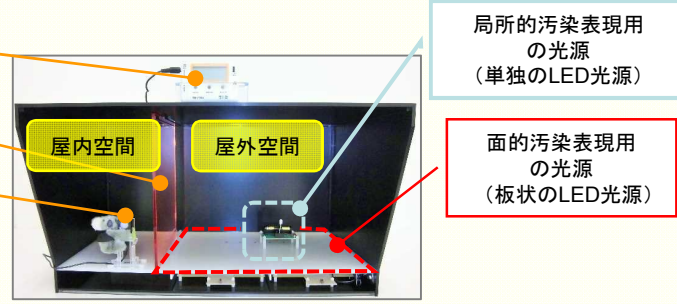
■ 概要 要：放射線と光のアナロジー（類似性）を活用して、見えない放射線を見える光（可視光）に置き換えることで、放射線の性質・除染の効果・被ばく線量とはどのようなものか理解するための支援ツール。

■ 活用・展開：○放射線等に関するリスクコミュニケーション用ツールとしてご活用頂くため、2014年9月以降、除染情報プラザに模型を展示中。

○新たに可搬性を向上し、2015年6月より、放射線教育教材としてご活用頂くため、教育機関等へ紹介を実施中。

実際	ツール
放射性物質	LED光源
放射線	可視光
放射線測定器	照度計
個人線量計	照度計（積算機能）
建物の壁	アクリル板

- 照度計(表示部)
- アクリル板
- 照度計(測定部)

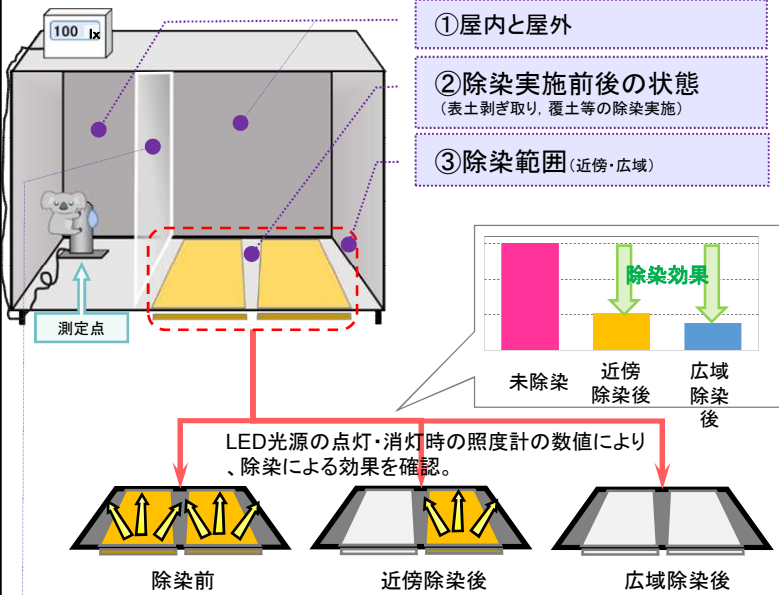


【仕様】
 本体；サイズ 540×340×300mm 付属品；照度計（※積算機能有）
 材質 アクリル樹脂 LED光源（板状・単独）
 アクリル板（白・曇りガラス調等）

※ 被ばく線量の算出に用いる

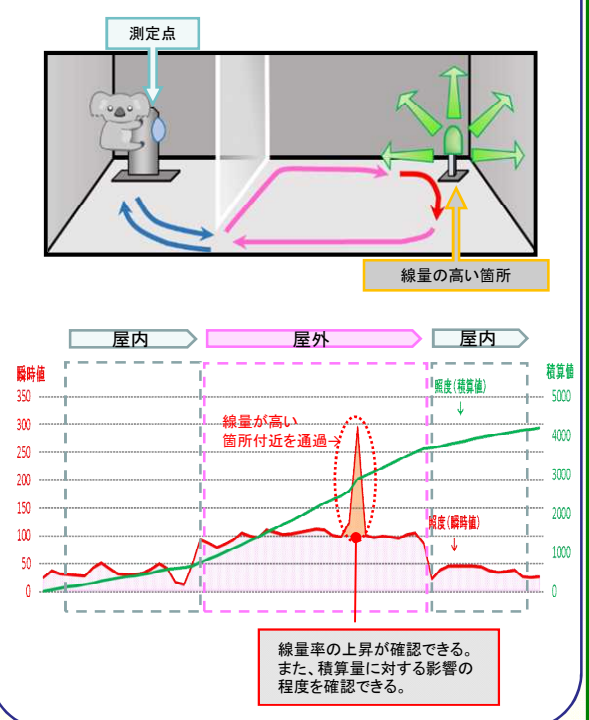
空間線量率についての理解を支援

■ 除染前後の空間線量率の変化を、LED光源の点灯・消灯の組合せにより照度として観察。



被ばく線量についての理解を支援

■ 行動することによる被ばく線量の変化を、測定点を模型内で移動させることにより照度として観察。



④ 建物による遮へい

■ 建物の材質や厚みの違いによる屋内での除染前後の空間線量率の変化を、アクリル板を変えることにより照度として観察。



技術検討・開発（デッドレコニング技術を活用したモニタリング装置の開発）

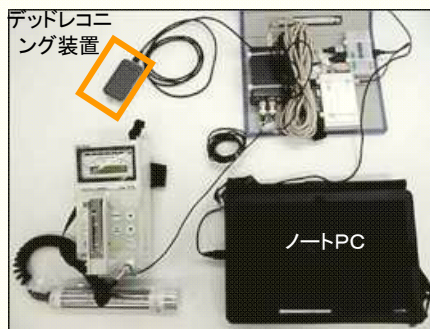
■開発期間：2013年10月～2014年8月

■開発内容：

○現在、人工衛星のGPS信号を活用した迅速・効率的な放射線モニタリングが広く行われているがGPS信号の受信が困難な場所(屋内・壁際・建物近く等)でも効率的なモニタリングを可能とするために、サーベイメーターに自律的に位置情報を記録する装置(デッドレコニング装置)を組み合わせるシステム(ソフトウェア)を当社にて開発。

■活用方法：

○これまでサーベイメーターの測定値を手作業で地図上に記録していた箇所において、パソコンの平面図上にリアルタイムに測定値を表示する事が可能となった。
○GPSが使用できない屋内・壁際・建物近く等でも、迅速・効率的なモニタリングが可能となるため、今後、国や自治体からの様々なモニタリングのご要請に活用していく。

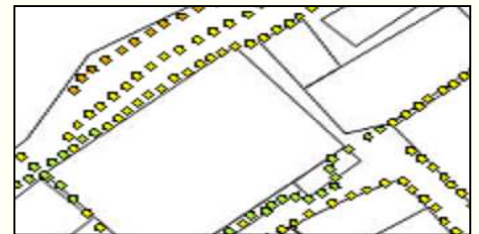


【装置外観】



【測定試験の様子】

↓パソコン画面上にドットを表示



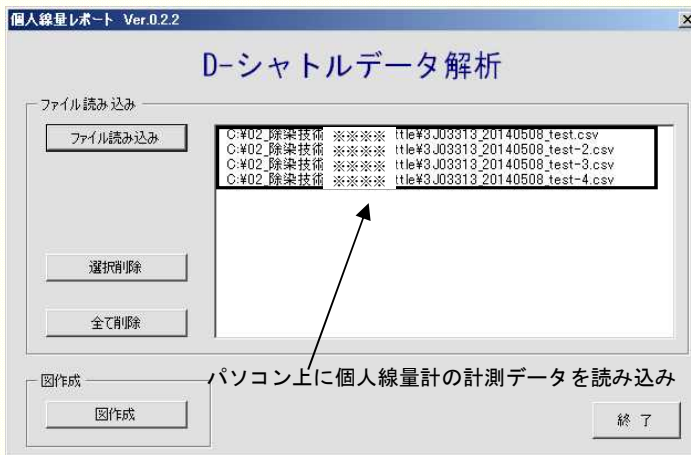
技術検討・開発（個人線量計のデータ解析プログラム提供）

■実施時期：2014年5月13日～2014年7月

■提供先：福島県 川内村

■実施内容：

○帰還に向けた準備宿泊において、川内村は個人線量計を住民の方々に配付している。
○同村からのご要請にもとづき、個人線量計で計測されたデータを解析し、わかりやすい報告書形式で出力するためのプログラムを作成・提供。
○現在、川内村にて報告書を作成し、住民の方々向けの放射線に関する健康相談等に活用していただいている。



【プログラム画面】



【データ解析結果（月単位、日単位に集計）】

技術検討・開発（個人線量計測手法の検討）

■実施時期：2013年1月～2014年2月

■実施内容：

- 放射線による被ばくの影響を判断するためには、個々人の一日の行動パターンと被ばく線量との関係をより詳細に分析することが重要であると考え、個人線量の計測手法の検討や個人線量計の改良を実施（※個人線量計の改良については、富士電機（株）と共同で実施）。
- 具体的な改良点は、①計測単位： $1 \mu\text{Sv}/\text{分}$ → $0.001 \mu\text{Sv}/\text{分}$ ②電池寿命を30時間→50時間 ③データ記録数：1,000件→9,000件。



【計測手法検討の様子】



【改良した個人線量計】

技術検討・開発（指向性モニタリング装置の開発）

■実施時期：2012年4月～2014年1月

■実施内容：

- 従来のモニタリング機能に加え、どの方向からの空間線量率の影響が大きいか定量的に評価できれば、効果的な除染に繋がると考え、指向性を向上させたモニタリング装置を開発。
- 具体的な開発ポイントは、①指向性をもたせた空間線量率の測定方法とその装置の開発 ②効率的に全方位を評価する方法と測定結果の表示方法。



【測定の様子】



【開発した指向性モニタリング装置】

迅速な原子力損害賠償に向けた組織体制

- 損害賠償の迅速かつ適切な実施のための方策「3つの誓い」を踏まえ、被害を受けられた皆さまに 早期に生活再建の第一歩を踏み出していただくため、約1万人体制で賠償を進めております。
- 今後も賠償の進捗に応じて必要な体制を弾力的に整備するとともに、業務の運用改善等を図ることにより、引き続き最大限努力してまいります。

更新



【福島原子力補償相談室配属前研修の様子】

福島原子力補償相談室(約1万人体制)

全
体
の
支
援
・
管
理

約
4
5
0
人

補償相談ユニット

補償相談センター

(13カ所) 約1,750人
[内、福島県内は約1,100人]

補償相談コールセンター

約300人

補償推進ユニット

約6,700人

ADR・訴訟ユニット

約300人

補償相談センター

- 設置数: 13カ所(福島県内に4カ所、福島県外に9カ所)
- 業務内容:
 - 説明会、相談窓口、事前審査、個別訪問、ご請求書等の受付、現地調査・説明。
 - 補償相談センターは相談窓口(14カ所)を設置し、ご請求者さまからのご相談を承ったり、説明会の開催やご請求者さまからのご要請等による個別訪問を行っています。
- 体制: 約1,750人(内、福島県内は約1,100人)
- 実績: 窓口での受付対応件数 約514,800件、説明会開催件数 約1,300件、説明会へのご来場者数約29,700人、個別訪問件数 約86,300件(復興本社設立以降2016年2月28日まで)。

更新



【相談窓口】



【個別相談ブース】(ご来場をお待ちしているところ)

補償相談コールセンター

更新

■業務内容:

- 賠償に関する電話での受付・説明・相談対応。
- 最後の一人まで適切に賠償を行うため、賠償未請求のご被害者さまへダイレクトメールや電話を通じて請求のご案内をしています。

■体制:約300人(年中無休、受付時間:9時～21時※)

※2016年4月以降、9時～19時(月～金(除く休祝日))、9時～17時(土・日・休祝日)

■実績:ご相談者さまからいただいたお電話の本数は約228万本 (コールセンター設立以降、2016年2月末までの累計)。



【補償相談コールセンターの様子】

補償推進ユニット

更新

■業務内容:

- ご請求書類等の発送、ご請求書の受領、ご請求書記載内容等確認、賠償額算定、賠償の考え方についてのご説明と協議、お支払い手続き。
- ご請求の確認には、「個人賠償」「法人賠償」「財物賠償」に大別した業務運営体制で迅速かつ公正な賠償の実施に努めております。

■体制:約7,000人



【補償推進ユニットの様子】

福島県産品販売促進活動（社内）

更新

- 実施日：2011年10月～
- 実施場所：東京電力本社・各事業所
- 実施内容：社員一人ひとりが福島県産品を購入出来るよう、本社をはじめ各事業所で福島県産品の社内販売会を実施。
- 実績：約80事業所延べ382回（復興本社設立～2016年2月末現在）



本社販売会【2015年11月20日】



本社販売会【2016年1月19日】

福島県産品販売促進活動（社外）

更新

- 実施日：2013年9月～
- 実施場所：一般企業本社ビル・工場内等
- 実施内容：企業主催の社内販売会や夏祭り・イベント等での販売サポートを実施。
- 実績：24企業等52日間（復興本社設立～2016年2月末現在）



社内販売会【2015年10月20日～21日】



イベント【2015年11月8日～9日】

ふくしま応援企業ネットワーク【概要】

更新

- 東京電力が発起人となり、福島県産品や観光の風評被害払拭に向けた活動の輪を広げ、その活動の定着を図ることを目的に設立。
- 東京電力を含めて企業11社で構成し、2014年11月発足。

設立日 2014年11月18日(火) 設立総会

目的 会員企業が共同で運営し、福島県産品の購入促進や福島県内の観光施設等の利用促進を、組織的・継続的に展開することで、風評払拭に貢献すること。

構成 東京電力が事務局となり、福島で廃炉作業等に携わり地域の実情を理解されている大手企業様10社と当社で発足。

(2016年2月現在 会員企業数当社を含め22※社)

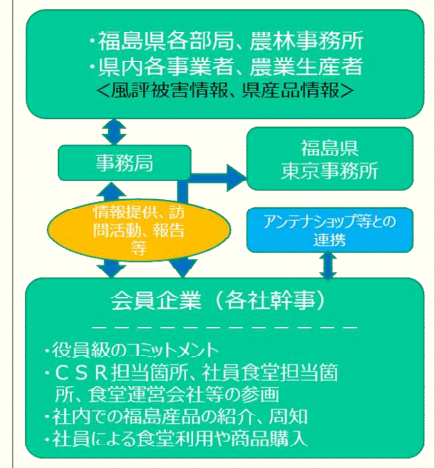
活動 会員各企業がそれぞれ創意工夫をしながら福島を応援

- ・ 福島県産品の購入促進*
- ・ 社員食堂での食材利用、社内販売会(産直市)等
- ・ 福島県内の観光や会議施設の利用促進
- ・ 福島県産品の安全性について現地視察研修
- ・ 各企業が実施している活動事例の紹介と共有

発起人 東京電力(株) 福島復興本社代表 石崎 芳行

事務局 東京電力(株) 福島復興本社に設置

活動イメージ



※会員企業22社(2016年2月現在)(50音順)

・(株)IHI・(株)アトックス・鹿島建設(株)・川崎汽船(株)
 ・川崎近海汽船(株)・(株)関電工・(株)神戸製鋼所
 ・JFEエンジニアリング(株)・JFEスチール(株)・清水建設(株)
 ・大成建設(株)・(株)竹中工務店・東京電力(株)
 ・(株)東芝・トッパン・フォームズ(株)・(株)日本製鋼所
 ・(株)日立製作所・富士電機(株)・古河電気工業(株)
 ・三菱重工(株)・三菱商事(株)・三菱電機(株)

ふくしま応援企業ネットワーク定時総会【概要】

■日時 2015年5月15日(金) 午後3時00分～午後5時00分

■場所 郡山市内「ホテルハマツ」

■出席者 会員企業17社より役員がご出席
 当社からは 福島復興本社代表 石崎 芳行 が出席

■議事 ○ 平成26年度事業報告
 ○ 平成27年度事業計画他の承認

■講演 「福島県の風評・風化対策の強化に向けて」について
 福島県総務部風評・風化対策監 野地 誠 様

※総会翌日、「福島県農業総合センター」「二本松市内の農業NPO法人」他を視察



【定時総会の様子】



【福島県内農園視察】

活動実績（2016年2月末現在）

<復興推進活動>

項目	内容	対応人数実績
清掃・片付け (p4~p5)	住宅・海水浴場・神社等の清掃・片付け	約73,700人
荷物運搬・整理 (p6)	図書館・公民館等の荷物運搬・整理	約1,300人
除草作業 (p7~p8)	学校・住宅等への進入路・墓地・遊歩道等の除草	約56,300人
除雪作業 (p9)	仮設住宅の除雪	約2,900人
営農再開等に向けた対応 (p10~p11)	除草・泥揚げ・電気柵の設置・点検、畑の復旧等	(約8,600人) * 除草・荷物運搬 に含まれる
一時帰宅対応 (p14)	一時帰宅対応、住民スクリーニング、測定対応等	約60,200人
その他(p12,13, p15~19)	イベント対応、見回り活動、介護研修会 他	約36,000人
合 計		約230,400人

<除染推進活動>

項目	内容	除染特別地域	汚染状況重点調査地域
モニタリングへの対応 (p20~p23)	農地・宅地・学校のモニタリング、モニタリングカーによる走行サーベイ、歩行モニタリング、JR常磐線の運転再開に向けたモニタリング等	約18,600人	約30,700人
国直轄除染への対応(p24~p27)	除染関連作業への工事管理業務への対応、除染のフォローアップ業務への対応、中間貯蔵に向けた試験輸送への対応等	約38,700人	—
市町村除染への対応(p28~p30)	除染関連作業への工事管理業務への対応、公共施設などにおける除染作業、中間貯蔵に向けた試験輸送への対応等	—	約17,400人
廃棄物・リサイクル等 (p31)	滞留中の牛糞堆肥運搬・施用を促進するスキームへの対応、残置自動車 [※] 撤去・処分への対応等 <small>※避難指示区域内</small>	約800人	約5,300人
その他 (p32~p35)	除染関連業務に係る技術検討・開発等	約21,700人	約20,200人
合 計		約79,800人	約73,600人

本写真集の一部をインターネット上に掲載するなど、他の媒体に転載することは、当社の著作権の侵害になるとともに、被写体の肖像権（人格権）の侵害となるおそれがあります。ご使用になる際は、当社へご相談下さい。